

みんなの町議会



“神石のたまご”開院!!

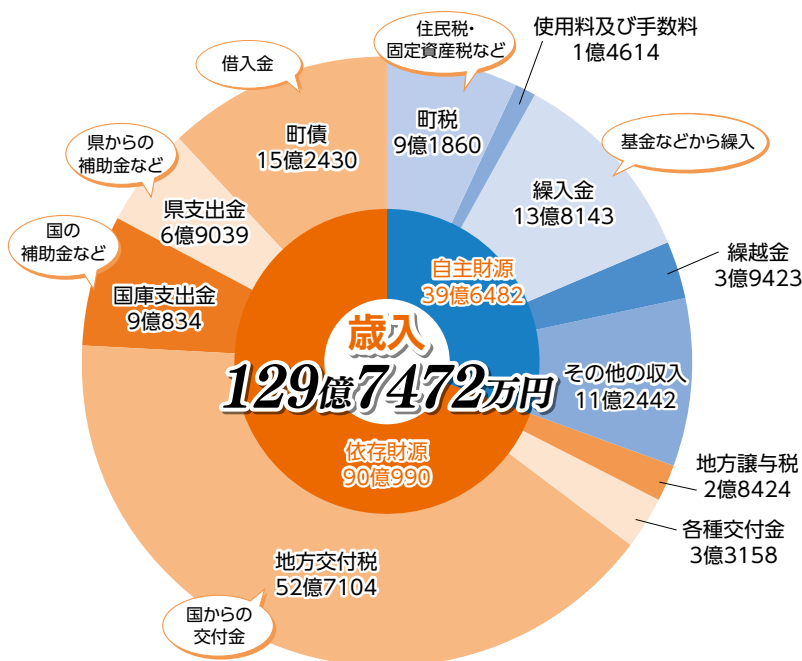
決算質疑	5
一般質問	7
こんなことが決まったよ	10

の全会計承認

歳入

前年度比で1億752万円の増加し、率にして0・8%の増となる。主な要因は、油木スポーツ広場サッカー場整備の合併特例債の増額などによるものである。

一般会計 **129億7472万円(歳入)**



9月
定例会

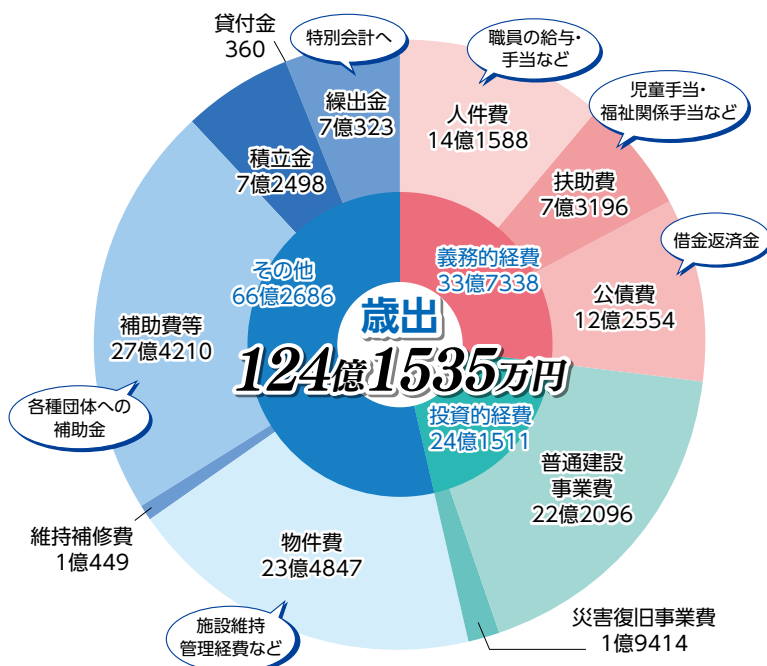
9月定例会は、9月3日から22日まで開かれました。令和6年度の全会計を決算認定し、令和7年度の補正予算を含め22議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

一般質問では、7人が町長、教育長に行政課題などについて質（ただ）しました。

歳出

前年度比で2億7238万円の増、率にして2・2%の増である。主な要因は、マサントフィールド（油木スポーツ広場）改修事業、油木支所庁舎改修事業の増額によるものである。

一般会計 **124億1535万円(歳出)**



(単位万円) (四捨五入)

令和6年度 決算

令和6年度決算

経常収支比率は81.2%、実質公債費比率は6.5%で昨年より0.3ポイント増となった。実質収支は黒字決算で5億1882万円を翌年度に繰り越し、事業に充てるとともに、2億6000万円を財政調整基金に積み立てた。

基金総額は約108億384万円で前年度と比較すると約2億9962万円、率にして2.7%の減となった。基金運用収益は約3736万円であった。

以上のことから、令和6年度の財政運営は健全かつ適正である。

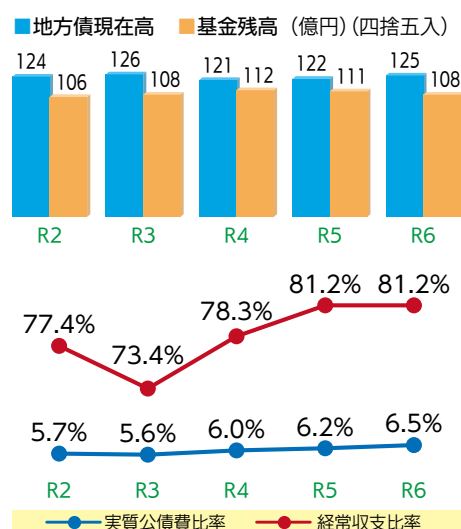
しかし、自主財源は30.6%、依存財源69.4%となっており、引き続き危機感をもって行財政運営に努めていくことを望む。

令和6年度 各会計歳入歳出総括表

単位：万円（四捨五入）

会計名		歳入決算額	歳出決算額	繰越財源	差引残高
一般会計		129億7472	124億1535	4055	5億1882
特別会計	国民健康保険	10億6321	10億1922		4399
	後期高齢者医療	3億9935	3億9836		99
	介護保険	19億2650	18億8751		3899
	飲料水供給施設事業	4315	3699		616
	分収育林事業	7	7		0
企業会計	病院事業会計	4億6069	4億7113		△1044
	農業集落排水事業	3億1415	3億1420		△5
合計		171億8184	165億4283	4055	5億9846

決算指数の推移



※経常収支比率とは
財政構造の弾力性を表すもの。
（高すぎると新しい政策が出来なくなる。）
70～80%が理想とされている。

※実質公債費比率とは
町の収入に対する負債返済の割合を示す。
（18%以上だと借入に国・県の許可が必要）

令和6年度 決算審査意見書 (抜粋)

令和6年度神石高原町各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は関係法令に準拠して作成されており、決算数値はいずれも関係諸帳簿等と符合し正確である。予算の執行は、適正である。

基金運用状況については、計数は正確であり、その運用状況は、神石高原町の各基金条例に基づき、目的に従って適正に行われている。

代表監査委員 木野山 孝志
監査委員 柏 床 由 夫



町長への監査意見書の提出

審査の意見

- **基金運用について**
基金運用方針の見直しを検討し、専門的知見を活用。
- **長期総合計画策定について**
全職員が実行的推進を図るため、共通認識を深める取り組みを推進されたい。
- **本物体験事業について**
通常できない体験を通じ、保護者参加型のプログラムの導入または拡充を積極的に検討し、定住促進および少子化対策の一助としていただきたい。
- **国民健康保険特別会計について**
広島県内の市町間で完全統一される重要な制度変更について、段階的な情報提供と積極的な周知を図ることを求める。
- **町税賦課徴収事務について**
滞納額が増加傾向にあり、抜本的な収納対策を講じることを求める。
- **小学校一般管理経費事業(教師用デジタル教科書)について**
町の財政状況に配慮した導入・運用を図ることを求める。

令和6年度 決算質疑

消防団組織の見直し

林 議員

機能別団員制度の拡充など、将来に向けた消防団組織の見直しは考えているか。

総務課長

持続可能な消防団運営を目指し、団員の推移などを考慮した見直しについて、消防団と議論・検討する段階である。

普通財産管理

久保田議員

旧井関小学校の土砂災害対策は。

総務課長

測量、ボーリングなど



災害警戒区域の神石高原温泉

の調査を行った。待ち受け擁壁工は2400万円かかる。温泉施設側の検討を待っている状況。

デジタル教科書の活用は

寄定議員

教師用デジタル教科書の活用状況と今後の方針は。

教育課長

全授業の7割で活用。令和7年度に中学校でもデジタル教科書を導入する。

紙媒体とデジタル併用など、それぞれのメリットを踏まえた活用について協議し、深い学びの視点から授業改善につなげたい。

チャレンジファンド運営事業

久保田議員

申請して不採択になった事業者の追跡調査は。

政策企画課長

不採択者はその後どうなったか把握はしていない。

副町長

農業関係は支援制度があるが、その他はないの

奨学金返済支援

寄定議員

奨学金返済支援事業は、企業・事業所の「代理返還制度」や広島県の制度との連携が必要では。

政策企画課長

広島県では奨学金返還に取り組む企業・事業所への支援を拡充している。県の制度との連携や広報を検討したい。

町紹介PR事業

横尾議員

テレビ広告などに約550万円支出している。財政状況から必要か。

政策企画課長

成果が見えにくい事業

協働支援センター事業

林 議員

縮充の社会における協働支援センターの役割は。

未来創造課長

今後の行財政改革の一環として、協働支援センターのあり方や支所の役割分担について、協議・検討を始めた。

フードバンク事業は

寄定議員

相談支援やフードバンク事業の現状と課題、将来展望は。

福祉課長

相談支援は社会福祉協議会と福祉課に窓口を設

である。今後は削減・縮小を検討する。

け相談者に寄り添い、自立に向け継続的支援に取り組んでいる。

フードバンク事業は、今後、食品ロスの削減と困難を抱える世帯への支援を含め、町民の皆様方の自宅で利用しない食品の提供を呼び掛ける「フード・ドライブ」も検討する。

町外通学者対象の医療費負担は

横尾議員

町外から通学している油木高校生に医療費の負担をしているが、必要なのは。

福祉課長

100万円程度支出した。財政状況を踏まえて検討する。

大型ドローンの実装は

林 議員

大型ドローンによる災害時の物資配送の実装の目処は立っているか。

産業課長

孤立集落が発生した場合に備え、いつでも実装可能な状態である。

商品開発費用は必要か

横尾議員

リ・クリエイトベース（旧油木百彩館）のオリジナル商品開発費532万円の内訳は。

またカフェが10月末で撤退するが、町民に対しての説明責任は。

町長

カフェのメニュー開発と革細工商品の開発、広告・宣伝素材の作成など



リ・クリエイトベースのハンバーガー

に使用されている。

産業課長

協働支援センターの幹事会で説明したい。

県道未改良区の拡幅は

寄定議員

県道三和油木線安田工区の全線開通の工程は。

建設課長

令和10年度工事着手をめざしている。未改良区間は約1・5kmあり、安田側の第1工区の



幅員が狭くなる、県道三和油木線 安田工区（阿下・安田間）

900mの完成に向け県と協議し進める。

病院事業会計

久保田議員

政策医療の経営上の赤字分4037万円を町が補填することなのか。

健康衛生課長

救急医療、へき地医療などの不採算医療を担っており経営上の不足分が出た場合、町が補填することになっている。

補正予算

9月補正予算

一般会計補正予算総額
2億1251万円
(四捨五入)

工場等設置奨励事業

802万円

〔奨励金〕
固定資産税総額の70%



町内のバイオマス発電所



老人集会所



コミュニティホーム

コミュニティ施設等管理経費

682万円

古川コミュニティホーム・
古川老人集会所解体工事

町道維持補修経費

5000万円

町道油木田頭線災害防除工事
(測量設計料含)



地すべり対策工事

一般質問

問 本年度学力テストの結果は

おがわ よしひさ 議員
小川 善久



答 確かな学力の
定着はできた

問 本年度実施された、
全国学力学習状況調
査の結果とその対応策は、
答 教育長 小学校は、
国語は県平均を上
回った。

中学校は、国語、理科
が県平均を上回った。
これらの結果から、確
かな学力の定着・向上を
図ることは概ねできたと
捉えている。

学習したことをペア
ワークなどで、自分の考
えを相手に伝わるよう根
拠を明確にして、伝える
場面を設定すること、話
し合う活動を意図的に取
り入れ自分の考えとの共
通点や相違点を見出しな
がら考えを深めていくこ
となどがこれからの対応
策と考えている。

問 県立油木高等学校の
生徒受け入れ態勢は

答 福山シティF C
コースのハード面で
の受け入れ態勢は整った。
コースの生徒として、
油木高校に入学された生
徒がサッカーを行うのは
部活動としてではなく、
クラブチームとして練習
される。学校生活以外で
の生活指導などの体制は
どうなるか。

答 政策企画課長 福山
シティF Cが、ユー

スコーディネーターを1
名公募されている。この
人が、コース生の生活面
でのサポートをされる。

問 1学年1学級の小規
模校だけ許されてい
た全国募集が、令和8年
度から中山間地域にある
地域唯一の学校として油
木高校と世羅高校も全国
募集することが可能と
なった。

受け入れについての課
題と対策は。

答 町長 課題としては
県内志願者数の想定
や通学することが困難な
場合は、油木高校寮の収
容人数なども踏まえ検討
される必要がある。県立
高校であり、高校で検討
され、広島県教育委員会
と協議し決定される。

問 30年国債購入で
21億円の含み損は

はし けん 議員
林 憲志



答 満期まで保有すれば
実損はない

問 基金から多額の国債
を購入してきた結果、
約21億円の含み損が発生
しているが。

答 町長 国債の含み損
は評価額で、満期ま
で保有すれば元本は保証
される。実損は出ていな
い。

問 財政調整基金50億円
のうち、自由に使える
お金はいくらか。

答 副町長 基金50億円
のうち、自由に使える
お金は約15億円だ。

るお金は約15億円だ。

問 基金運用のルールが
3分の1から2分の
1へと拡大した経緯が不
明瞭で、これまでの監査
報告に債券運用や含み損
の詳細な記載がないが。

答 副町長 監査報告に
含み損を記載する義
務はないが、今後は説明を
充実させる。

問 近年、短期間に多額
の国債のみを購入し
た判断は甘かったのでは
ないか。

答 副町長 当時の経済
状況を専門家の助言
を基に、将来の安定財源
確保のため購入を判断し
た。満期まで保有する方
針のため、リスクは低い。

問 町民への説明を尽く
すため、第三者委員
会を早期に設置すべきで
はないか。

答 町長 第三者委員会
の設置は、今後の財
政への影響も含めて検討
する。

『縮充』における
充の具体策は

問 縮充の『充』を明確
に。財源不足でス
クールバス再開が困難と
いう答弁は、通所の安心
安全軽視では。

答 町長 スクールバス
は、安全面や財政負
担など課題が多く、現状
では困難である。要望書
が提出された場合は、内
容を議論しながら検討す
る。

問 町が保有する公用車
を住民に貸し出す仕
組みを検討しては。

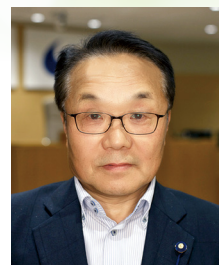
答 総務課長 まずは、
保有する公用車の適
正配置と削減に取り組む
カーシェアリングの導入
は、将来的な検討課題だ。



住民も使える公用車へ
『縮充』の町づくりに向けた新たな検討を

問 行財政改革の内容は

よこ お まさふみ
横尾 正文 議員



答 補助事業と事務事業を見直す

問 将来にわたる持続可能な財政運営を実現するための行財政改革の具体的な内容は。

答 町長 関係団体に説明・調整を行い、令和8年予算に反映させる。

補助事業は、削減・廃止が112事業で効果額は1億700万円、事務事業は、削減・廃止が76事業で効果額は7780万円となっている。今後は関係団体と調整し、さらなる削減を見込んでい

る。

問 行政組織のスリム化での人件費の削減は。

答 町長 ICTやAIを活用した業務の効率化で、人員の削減や最適化を図る。

問 物件費の削減は。

答 町長 公共施設の在り方の見直しに合わせ、施設使用料の見直しと指定管理制度の再構築を図る。

問 第三セクターへの繰出金の削減は。

答 町長 公営企業会計の赤字補てんは自治体の負担となるため、料金及び使用料の見直しをする。また第三セクターなどの出資外郭団体は補助金に頼らない自主的・自立的運営となるよう協議する。

問 ドローンを活用した「稼ぐ役所」ができ

ないものか。

答 町長 提案があった農薬散布や植林の苗の輸送にとどまらず、災害警戒区域と遠隔地への物資輸送や空撮サービスなどの取り組みが可能と考えている。

トイレの
夜間使用は

問 リ・クリエイティブス内のトイレの夜間使用は。

答 町長 多くのマナー違反があり使用を禁止していた。その後、防犯カメラを設置し、8月29日から使用を再開している。



トイレの夜間使用は

問 激甚化する自然災害への対応は

よりさだ ひでゆき
寄定 秀幸 議員



答 実働可能な地域コミュニティを

問 線状降水帯などの豪雨災害や猛暑などの極端な気候による社会生活への影響は甚大である。防災・減災対策・対応への基本的な考えは。

答 町長 役場内の災害対応能力を強化するとともに住民一人一人の防災意識を高める必要があり、防災訓練や啓発活動を通して、災害時に実働可能なコミュニティの形成支援を進める。

問 災害情報システムへの取り組みは。

答 町長 本年度より運用が開始された広島県の「新防災情報システム」の有効活用で、情報収集の一元化と実効性ある防災情報システムの利活用に努める。

問 避難所運営の運営指針に明記された「スファイア基準」への見解と避難所の環境改善は。

答 町長 国際的人道基準である「スファイア基準」は、具体的かつ実践的な指針であり、参考とすべき要素が多いが、町の規模など課題もある。現在は、衛生環境の確保、食料や飲料水の供給の改善に重点を置いている。具体的には、女性の視点に立った生理用品の更新や簡易トイレの衛生管理、栄養に配慮した食料の備蓄を進めている。

猛暑対策

問 農業における猛暑対策・対応への取り組みは。

答 町長 本年6月、認定農業者連絡協議会で、熱中症対策などの労働安全衛生について研修会を実施した。

問 学校での猛暑対策は。

答 教育長 熱中症の危険が高いと判断した場合、体育や部活動、行事などの活動中止や制限を行うなどの対応をしている。現在、児童生徒は必要に応じて水筒を持参しており、冷水器の設置は今後、学校と検討したい。



広島県の危機管理課で議員研修

問 補助金など支援している各事業について減額を中心に、見直し作業をしているが進捗は。

答 町長 5月中旬を目途に各担当課による洗い出し作業を行いリスト化し、整理の方向性を検討して7月から役場内でヒアリングを進めた。また、行財政改革推進本部会議を開催し、その後、第4次神石高原町行財政改革プランの素案を議員調整会議で説明した。

町財政の見直しは

かみはら しんいち
上原 伸一 議員



行財政改革プランを推進

地域住民や各自治振興会、協働支援センターを対象とした説明会を4地区で開催した。

問 減額は適切で大きな不利益は生じないか。

答 町長 令和8年度から令和12年度における財政収支見直しにおいて約26億円の収支不足が推測される。この額を目標値として、歳入確保と歳出抑制に取り組む。また、大きな不利益が生じることのないよう関係団体に説明、調整を行い、令和8年度予算に反映する。

今後、目的が住民ニーズや社会情勢に適合していない事業は積極的に見直し、住民サービスの維持に配慮したうえで補助金支出の適正化に取り組み将来にわたる持続可能な財政運営を実現する。

問 基金増額に向けた取り組みは？

答 町長 町村合併の合併算定替えにより、普通交付税などが、一定程度確保できた結果、基金造成、前年度決算剰余金など確実な積み立てを行う事ができた。

現状では、大きなプラス要因が見込めないため、基金繰り入れの抑制を推進し、残高の維持に取り組むこととする。

問 税収入の増加に向けた取り組みは？

答 町長 サッカーチームの誘致による交付税収入の増加や、民間企業との連携による町内観光施設の活性化など、集客効果が期待できる。



三和地区 説明会

人口減少対策などPR不足では

ふじい じゅんこ
藤井 潤子 議員



ネットなどで情報発信している

生涯学習の業務は

問 生涯学習の一部の業務が教育委員会でないのはなぜか。

答 町長 生涯学習は、各地区協働支援センターの活動として位置づけ、未来創造課が担当している。

住民からの要望に応えられるよう学習ニーズの把握・講座の企画・運営を継続的に実施している。

問 町内の学校や近隣の大学と連携して町民に学習の場や機会を提供することはできないか。

答 町長 道の駅182ステーションの「わんぱくトマトガーデン」に固定看板を設置する意向はあるか。

答 町長 道の駅182ステーションへ協議・依頼し、掲示に協力いただいている。

町主催のイベントの集客は

問 イベントの企画は良いのに集客が少ない。

350席のやまなみ文化ホールを会場とするな

らば、広域への周知が必要では。

答 未来創造課長 やまなみ文化ホールは音響も良く、会場も色々な面に配慮されているので利用している。

集客についても検討したい。

問 町の本気度が見えない。神石高原町をどのようにしていきたいのか。

答 町長 地域の祭りや行事などをすべて行政が主体的に引き継いでいくことはできない。地域の方々にお願いしたい。将来に向けて持続可能なまちづくりをすることが行政の責務である。



生涯学習に取り組む「にしかわ文化館」

問 耕作放棄地に増税を

やまもと よしひさ
山本 喜久 議員



答 増税該当農地はない

問 耕作放棄地の地権者に対して行政指導することで増税出来るのでは。

答 町長 農業委員会では、調査し本年度の遊休農地の内、再生困難な農地は非農地通知を出した。貸し付け希望農地は勧告対象外農地として処理しているので増税となる農地はない。

空き家周辺などの
荒廃地は

問 町外所有者に荒廃地管理促進を促す文書や現状写真送付を行い、荒廃地減少に努める行動が必要ではないか。

答 町長 原則、所有者責任と考えるが、他の自治体事例も調査しながら検討する。

家庭菜園場

問 全国に市民農園が開設されている。近年の物価高騰により家庭菜園に関心を持たれるのは自然の流れであると考え

答 町長 これからはインターネットを活用した農地活用が進む。本版の耕作放棄地対策を研究する。

土砂災害
警戒区域指定

問 土砂災害警戒区域指定された為に避難所としての施設運営が出来ない。

今後の打開策として裏山の法面を基準値以下に切土して、切土した土は今後建設予定施設の埋め立てに使用する計画はできないか。

答 町長 切土工事は指定避難所の立地条件を満たす有効な手段と考える。

財源確保と残土の有効活用を一体的に検討する。



警戒区域に指定された避難所

条例改正など

条例制定・改正

こんなことが決まったよ!!

主なもの

神石高原町医療従事者育成奨学金貸付条例の一部を改正する条例

主な改正内容：奨学金返還免除に係る町内の医療機関等への勤務期間を貸付を受けた期間と同等期間から1.5倍に相当する期間に延長する。
(ただし、この期間が3年に満たない場合は、3年とする)



指定管理者の指定

施設名：神石高原町活性化情報センター

内 容：合併による指定管理者の変更

(株)ケーブルジョイ⇒(株)ちゅピCOM

期 間：令和7年10月1日から令和9年3月31日まで（1年6ヶ月）

※現指定管理期間の残期間

管理料：年間198万円（本年は半年分）



まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた
要望・意見・感想など主なもの

●暑中お見舞い申し上げます
米不足・物価高など色々ありますが暑い日は議会便りを読みながらクイズをして、冷たいお茶でも…なんて、いかがでしょうか。
(神石地区)

●町内の空き家がふえています
が、田舎ならではの良いところいっぱい、自然豊かな神石高原町をもっともっと知ってもらい移住者がふえることを望んでいます。
(豊松地区)

●暑さに負けず頑張ってください。
(神石地区)

●町外への買物バスが週に1回でもいいのであったら助かります。
例えば東城町とか。
(神石地区)

●町外へのPR活動の状況を広報してほしい。
(川崎市)

●住み良い町が続くことを期待しています。
(油木地区)

●いつも楽しんで参加させて頂いています。これからも住み良い

町づくりよろしくをお願いします。
(油木地区)

●議会クイズ脳トレになりました。
未来に向かう町の取り組み、良く分かりました。

●これからも住みやすい町づくり
お願いします。
神石高原町遊びに行きたいです。
(豊橋市)

●去年と同様に今年も暑い日が続きます。
熱中症にならない様
しつかり水分補給をして、日中は出来るだけ太陽をさけていきたい
と思います。皆さん体に気をつけて生活しましょう。
(油木地区)

訂正とお詫び

83号P11 まちの声に誤りがありました。

関係者の方にご迷惑をおかけして
申し訳ありませんでした。

①誤 788世帯が減少

②正 78世帯が減少

議会広報常任委員会

第66回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉を
いれてください

- ① 令和6年度決算歳入の自主財源〇〇.〇%
- ② 指定管理者指定(株)ケーブルジョイ
→(株)〇〇〇COM
- ③ 神石の〇〇〇産婦人科

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先 〒720-1522 神石高原町小島1701番地
神石高原町議会事務局「議会クイズ係宛」

●FAX 0847-85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り ・はがき 令和7年11月7日(金)消印有効
・メール 令和7年11月7日(金)17時締切

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。



クイズの答え

議会クイズにたくさん
のご応募ありがとうございました。
皆様が
いただいた声を受け
とめ、前向きに取り組
んでいきます。

- ① よしとみ(介)護予防カード
 - ② 小島(交)流会館の改修
 - ③ 油木スポーツ広場
- ④ (R)E(A)M パートナース

第65回

議会クイズ当選者

油木地区 藤井 絹枝さん

おめでとーございます！

母子に優しいお産を 「神石のたまご」産婦人科・助産院



入院施設 兼 分娩室

鎌倉で産婦人科の医院長として活躍されていた日下 剛医院長（表紙右）は、令和7年9月2日に「神石のたまご産婦人科」を、広島市から助産師として移住してこられた迫田典子医院長（表紙左）は10月1日に「神石のたまご助産院」を開院されました。

さるを推奨されています。自然分娩による出産はオキシトシン（幸せホルモン）が多く分泌されることで、出産が素晴らしい体験となり「また出産したい」という気持ちにさせたり、家族の絆を強くするという効果も期待されています。

そして、地域への愛情や、色々な困難にも挑戦できる精神を持った子どもに育ちやすいと話されています。

助産院での出産はベッドでなく転がることができるよう畳敷きの和室となっています。

また、この施設では鍼灸やアロママッサージなどを利用したケアも行われています。

昨今減少している産婦人科ということで、町内のみならず近隣からも通われることが期待されます。



道の駅182ステーション北にある神石のたまご



自然分娩の素晴らしさを語る、日下医院長

編集後記

暑く厳しい夏がやっと過ぎ、秋の訪れを感じられる頃となりました。

これから各地区や学校でお祭りやイベントが催されます。また観光施設などの企画も盛り沢山です。

異常気象、物価高騰で生活の環境が大きく変化しています。今までの経験や価値感の維持が難しい時代になってきました。

地域の皆さん、一人ひとりが町の原動力です。神石高原町にはこれがある！神石高原町ではこんなことができる！という「宝物探し」をしませんか。

（潤）

議会広報常任委員会

委員長	小川 善久
副委員長	柏床 由夫
委員	林 憲志
委員	藤井 潤子
委員	上原 伸一

■発行責任者 議長 橋本輝久
■住所／広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 0847-18913340
FAX 0847-18514201